

<b>〔科目名〕</b> 経営戦略論Ⅱ	<b>〔単位数〕</b> 2単位	<b>〔科目区分〕</b> 専門科目 基幹科目
<b>〔担当者〕</b> 小林 哲也 こばやし てつや	<b>〔オフィス・アワー〕</b> <b>時間:</b> 初回講義時に説明します <b>場所:</b> 初回講義時に説明します	<b>〔授業の方法〕</b> 講義
<b>〔科目の概要〕</b> <p>「経営戦略論Ⅰ」では、主要な戦略の中の「事業戦略」について、学習したと思います。ここでは、「経営戦略とは何か」という基本的な概念から、企業がどのような意図をもって、製品やサービスを提供し、企業の持続的成長を実現しようとしているのかを学んだと思います。</p> <p>「経営戦略論Ⅱ」では、これよりももう少し広い範囲で企業の経営戦略を考える「全社戦略」に焦点をあてて皆さんと考えていきます。全社戦略は、事業戦略よりも高い視野に立って、企業自身の持続的成長を可能にする競争戦略をどのように維持していくのかを考えていく戦略です。「事業戦略」では各事業それぞれの戦略に焦点をあてましたが、「全社戦略」では、それぞれの事業を融合させ、有効気機能させながら、企業全体の持続的成長を目指す戦略となりますので、より広範で高い視点からみた戦略の設定が必要となります。</p> <p>本講義では、「事業戦略」をベースとして、「全社戦略」に焦点をあてて、企業が競争優位を獲得していくために、どのような手法を使っているのかを中心に考えていきます。</p>		
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕</b>		
<b>〔他の科目との関連付け〕</b> <p>経営戦略は、企業や組織内にあるさまざまな機能をもとに構築されています。また、本講義で取り扱う「全社戦略」は、各事業の戦略を結び付けた関係にもあります。本講義を理解するためには、「経営戦略論Ⅰ」を履修していることが前提になります。また、事業戦略策定の前提として、マーケティングやサービス、財務、人事労務などの分野から得られる情報などを基に作成されます。一方で、経営戦略の多くは、企業の外部環境にも大きく影響されます。たとえば、市場動向や競争環境の変化は、経営戦略の方向性にも影響します。そのため、幅広い知識をもとにまなぶことで、より理解しやすくなります。</p> <b>〔学んだことが何に結びつか〕</b> <p>経営学科のディプロマ・ポリシーにある「市場はもとより、多様な環境の変化に適応するだけでなく、自らが戦略的に変革を目指し、実践できる人材」と「会計データを読み、資金の調達や引用に関わる財務上の問題を見出し、それに関する解決策を提示する人材」に係る能力の構築に深く関係します。また、「組織と個人の関わり合いや、組織における複雑な人間関係の問題に焦点をあてながら、多人数の協働を確立し、維持・発展できる人材」に係る能力の導入を進め、ディプロマ・ポリシーに明示された能力の構築を目指します。</p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> <p>本講義では、経営学科のディプロマ・ポリシーにある「市場はもとより、多様な環境の変化に適応するだけでなく、自らが戦略的に変革を目指し、実践できる」能力と「会計データを読み、資金の調達や運用に関わる財務上の問題を見出し、それに関する解決策を提示できる」能力の構築を目指します。また、授業を通じて、「組織と個人の関わり合いや、組織における複雑な人間関係の問題に焦点をあてながら、多人数の協働を確立し、維持・発展できる」能力の導入を進め、その基本的な能力の構築を目指します。</p> <p>本講義を通じて、さまざまな情報を取捨選択しながら、自ら考え、意思決定し、自らの方向性を確立できる能力の構築を到達目標とします。</p>		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> 担当教員にとって初年度の授業のため、コメント等はいりません。		
<b>〔教科書〕</b> 特に指定しません。		
<b>〔指定図書〕</b> 以下は、講義に際して参照文献として紹介します。 網倉久永・新宅純二郎『経営戦略入門』日本経済新聞社、2011年 イゴール・H・アンソフ著・広田寿亮訳『企業戦略論』産業能率大学出版部、1969年 ウルリッヒ・ピドゥン著・松田千恵子訳『全社戦略 グループ経営の理論と実践』ダイヤモンド社、2022年		

ジェイ・B・バーニー著・岡田正大訳『企業戦略論(上・中・下)』ダイヤモンド社, 2021年。	
<b>【参考書】</b> 伊丹敬之『経営戦略の論理』日本経済新聞出版, 2012年 菅野寛『全社戦略がわかる』日本経済新聞出版社, 2019年 アルフレッド・D・チャンドラーJr 著・三菱経済研究所訳『経営戦略と組織』実業之日本社 1967年 ピーター・F・ドラッカー著・上田惇生訳『現代の経営(上・下)』1996年 マイケル・E・ポーター著・土岐・中辻・服部訳『競争の戦略』ダイヤモンド社, 1982年 マイケル・E・ポーター著・土岐・中辻・服部訳『国の競争優位(上・下)』ダイヤモンド社, 1992年	
<b>【前提科目】</b> 「経営戦略論 I」および経済・経営に関係する科目を履修していることが望ましい。	
<b>【学修の課題、評価の方法】(テスト、レポート等)</b> 学期末試験の結果 (50%) 授業の理解度や疑問点等を把握するために毎回実施するリアクションペーパーの内容 (50%) 学期末試験の内容等については、試験前の授業時に説明します。 ただし、特別の配慮が必要な方については、個別に対応します。	
<b>【評価の基準及びスケール】</b> 上記の配分に従い、下記の点数の範囲で評価を行います。 A:100～80点, B:79～70点, C:69～60点, D:59～50点, F:49点以下	
<b>【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】</b> 本格的な経営学の内容を学ぶに際して学生の皆さんが理解しやすいように丁寧に、具体的事例を活用しながら授業を展開していきます。 授業開始前には、シラバスをもとに授業で取り扱う内容について参考文献などの事前に内容をみておくことが求められます。授業後は、授業内容を振り返り、内容を確認しておくこと、わからないことがあった場合は、担当教員に確認するなどして、疑問点を解決しておくことが求められます。授業における標準的な事前・事後学習時間は3時間です。	
<b>【実務経歴】</b> シンクタンクでの研究員としての勤務実績(10年間)	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): インTRODクシヨン 内 容: 授業の進め方となぜこの内容を学ぶのかについての概要説明。この授業で何を学ぶのかを理解できる。 教科書・指定図書 なし
第2回	テーマ(何を学ぶか): 全社戦略 内 容: 「全社戦略」についての概要。全社戦略の定義を理解できる。 教科書・指定図書 ピドゥン第1章
第3回	テーマ(何を学ぶか): 事業定義と企業ドメイン 内 容: 企業が決定する事業領域とその組み合わせ。事業領域とドメインを理解することができる。 教科書・指定図書 網倉・新宅 第9章
第4回	テーマ(何を学ぶか): 多角化 内 容: 企業が多角化する理由と多角化戦略の概要。多角化の定義となぜ多角化するのかを理解できる。 教科書・指定図書 ピドゥン 第2章
第5回	テーマ(何を学ぶか): エージェンシー問題とエージェンシーコスト 内 容: 多角化戦略を実施するタイに必要な条件とエージェンシーコストについての解説。エージェンシーコストとは何かとなぜ発生するのかを理解できる 教科書・指定図書 バーニー 第13章

第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):ポートフォリオ・マネジメント</p> <p>内 容:製品ポートフォリオとは何か,これをどのように管理運営していくのかの解説。製品ポートフォリオとポートフォリオ・マネジメントを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 網倉・新宅 第11章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業価値</p> <p>内 容:「企業の価値」は何によって決まるのか,その価値はどのように上昇するのかについての解説。企業価値とは何かを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 ピドゥン 第2章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業の存在意義と方向性</p> <p>内 容:企業は「何のために」存在するのか,その価値観の定義と概要についての解説。企業は何のために存在しているのかを理解することができる。</p> <p>教科書・指定図書 ピドゥン 第2章,第3章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業の資源と能力</p> <p>内 容:企業の競争優位の源泉となる資源は,どのように活用されているのかについての解説。企業の内部資源をどのように活用することで競争優位を獲得できるかを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 ピドゥン 第3章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):成長戦略</p> <p>内 容:企業にとって「なぜ成長が必要なのか」についての解説。業成長のための仕組みを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 ピドゥン 第5章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):M&amp;A</p> <p>内 容:企業の合併・買収の概要とその目的についての解説。M&amp;Aの効果を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 ピドゥン 第7章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):提携</p> <p>内 容:提携の形態(M&amp;A)との違いとそのメリットとデメリットについての解説。提携(戦略提携)の目的と効果を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 ピドゥン 第7章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):事業の再構築</p> <p>内 容:事業の再構築,リストラクチャリングとは何か,どのような手法があるのかの解説。リストラクチャリングの手法と効果を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 ピドゥン 第7章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):事後的な発展パターン</p> <p>内 容:創発的戦略とは何かの解説。創発的戦略を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 網倉・新宅 第1章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):まとめとフィードバック</p> <p>内 容:これまでの授業を振り返り,内容についての疑問点等についてフィードバックを行う</p> <p>目標:これまでの授業における疑問点や質問等を解消し,内容をより深く理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
試験	<p>期末試験を実施の予定</p>